

24時間365日、地域の人々に安心・安全を提供するJMA。
それを支える皆さんの1日の様子を追いました。



8:15

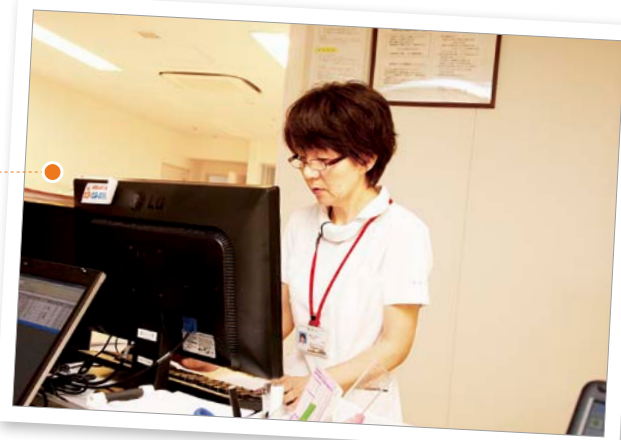
院長講話

東埼玉総合病院で伝統的に行われている月1回の院長講話。医師からコメディカル、事務スタッフまで全員が集合します。病院の現状を知り、これからに向けて連携していくために必要不可欠な場となっています。



電子カルテ操作

JMAでは2004年2月に東埼玉総合病院で電子カルテが初めて導入され、同年11月には海老名地区にて全施設を結ぶ電子カルテが導入されました。新しいシステムも積極的に取り入れる姿勢で、アライアンスを強化しています。



8:50

看護部申し送り

看護部が毎朝行う定例業務です。一般的な連絡事項から、その日の予定に関する詳細な確認まで、さまざまな事項が全体で共有されます。命を支える1日の始まりは、真剣な空気が漂います。



9:00

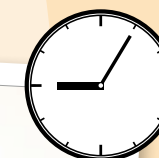
入院患者回診

東埼玉総合病院では病床173床を、海老名総合病院では469床を回診します。診察だけでなく、医師や看護師が患者さんとコミュニケーションをとる大切な時間です。

9:05

夜勤から日勤への 時間帯引き継ぎ

夜勤当直の看護師から、新たに受け入れた患者さんの搬入・来院時の症状、治療などの処置、その後の経過などの申し送りを受けます。パソコンの画面を見ながら個別情報を把握し、スムーズで正確な引き継ぎを行います。





13:00

服薬指導

薬剤師が患者さんに処方薬の薬効と服薬方法について、分かりやすく指導を行います。多職種がそれぞれの役割の中で、患者さんの声を大切にし、納得して治療に専念していただくための信頼関係を構築しています。



17:30~翌8:30

救急医療

医師や看護師、コメディカルスタッフが交代で夜間の宿直をします。救急外来や救急車で搬送を受け入れ、治療を行います。いついかなる時も受け入れを断らない医療を目指し、多くの職員が努力しています。



13:30

手術

東埼玉総合病院では年間約1,500件、海老名総合病院では年間約4,900件の手術を行っています。手術担当医師や麻酔担当医師、看護師、臨床工学技士などがチームとなり、安全で質の高い手術を行えるよう、日々努力しています。



14:00

ベビーダンス講座

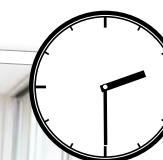
海老名メディカルサポートセンターでは、「アロマサロンFranc」の主催で、毎月第2木曜日にベビーダンス講座を開催。ベビーダンスには母子双方の気を盛り上げ、ストレス解消につながる効果があるとされています。医療のみならず人々の健やかな暮らしに役立つ情報も発信しています。



14:30

ホスピタルクラウン

アメリカで発祥したとされるホスピタルクラウン。専門の教育を受けたクラウンが、衛生に配慮した上で病室を訪問します。ストレスの多い入院生活を送る患者さんに笑いを届け、免疫を高めようという狙いがあります。



15:00

カンファレンス

診療科ごとにおよそ週1回のペースでカンファレンスが行われます。患者さんの病状を報告し、治療方法について全員で検討します。

